



鈴鹿の魅力再発見!



#最高に住みやすいまち鈴鹿



For a Future Full of Smiles! Let's co-create the Most Livable City, SUZUKA!

魅力あふれる風景や取り組みがたくさんある鈴鹿。皆さんも、鈴鹿の「ここスキ」がきっとあるはず。

このコーナーでは、鈴鹿市公式インスタグラムに掲載している記事を紹介し、鈴鹿の魅力をお届けします。

問合せ 総合政策課 ☎382-9038

Follow me



市公式Instagram



お気に入りの風景



神戸公園の紅葉



ススキと茶畑



神戸

紅葉が見頃を迎え、
落ち葉の絨毯が美しい



鈴峰地区

ススキ、茶畑、青空の
コントラストが素敵

イチ押しプロジェクト

スマートフォンやパソコンで、
いつでもどこでも本が読める
電子図書館がオープン



すすか
電子図書館



あの人のここスキ!

作家 中條ていさく



～鈴鹿の朝日～

伊勢湾に面する本市では、水平線から昇る美しい朝日を望むことができます。本市出身で作家の中條ていさんは、若松の堤防から眺める朝の空がお好きだそうです。元日、市内の海岸は初日の出を見に訪れる人で賑わいます。



ひと・まち・モータースポーツ

偉業! 鈴鹿市出身の下田丈選手が日本人初のモトクロス世界チャンピオンに

アメリカを拠点に戦う鈴鹿市出身のモトクロスライダー下田丈選手(23歳 Honda HRC Progressive所属)が、「AMAスーパーモトクロス世界選手権」250ccクラスチャンピオンに輝きました。

同選手権は、AMA(アメリカモーターサイクル協会)が統括する「スーパークロス」(スタジアムなどに設置された人工コース)と「モトクロス」(自然の地形を生かしたコース)の各全米選手権シリーズ終了後に、それらの

ランキング上位者により全3戦で争われるモトクロス世界No.1決定戦です。

アメリカはモトクロスの本場で、ヨーロッパを主戦場とする「FIMモトクロス世界選手権」よりレベルが高いと言われ、そのチャンピオンがアメリカでの大会に挑戦するケースもあります。つまり、全米を制することは世界の頂点に立つことといっても過言ではありません。

5歳のころからモトクロスを始め、多くの勝利を重ねてきた下田選手。父の陽一さん(51歳)とともにアメリカでの挑戦を開始して13年目の偉業です。



▲優勝杯を掲げる下田丈選手

■中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

広報すすか 2025年12月5日号 編集後記

キーボード



小学生の時、友達と喧嘩をしてしまい、「ごめんね」の一言が言えなかったことがあります。今思えば、謝ることが恥ずかしく、負けたような気がしていたのかもしれません。

家族からはいつも「相手の気持ちを考えることは大切なことだよ」と言われていましたが、すぐには素直になれず、気まずい時間を過ごしました。それでも、心のどこかでこのままでは嫌だという気持ち

が強くなり、勇気を出して友達に「ごめん」と伝え、仲直りしたときの嬉しさは、今でも覚えています。

人と人との関係で大切なのは「思いやる心」だと思います。忙しい日々の中では、自分のことで精一杯になりがちです。少し立ち止まって相手の気持ちに目を向ける、そんな小さな思いやりの積み重ねが、優しい社会をつくるのではないのでしょうか。(慎)



電子・音声版
広報すすか

■発行/鈴鹿市 〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 ☎059-382-1100(代表) 🌐<https://www.city.suzuka.lg.jp/>
■編集/政策経営部情報政策課 ☎059-382-9036 ☎059-382-2219 📧johoseisaku@city.suzuka.lg.jp
■印刷・制作/有限会社三鈴印刷 ☎059-378-9304 ☎059-378-1843

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
この冊子は資源ごみの「新聞」に分別してください。